

平成30年度 防衛大学校入校式  
来賓代表祝辞

防衛大学校本科第66期生を始め、理工学研究科第57期前期・第18期後期課程及び総合安全保障研究科第22期前期・第10期後期課程の諸君、また、遠く祖国を離れて入校されたカンボジア王国、ラオス人民民主共和国、モンゴル国、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、大韓民国、タイ王国、東ティモール民主共和国、ベトナム社会主義共和国からの留学生の諸君、入校まことにおめでとう。

諸君が見事難関を突破し、晴れて入校の栄冠を勝ち取られたことに、敬意を表しますとともに、この日を待ち望んでおられたご家族の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

本科学生の諸君は、今、夢と希望、そして一抹の不安を抱きつつ、この式に臨んでいることと思います。

どうか安心をしてください。今日からは防衛大学校職員が、そして先輩学生が温かく、時には厳しく諸君を導くことでしょう。これからの生活は諸君の人生にとり、かけがえのない素晴らしい充実した4年間になることでしょう。ここ小原台に集う同期生とともに、青春を謳歌し、情熱を燃やして、これからの学生生活を送ってほしいと思います。

本日は、陸・海・空自衛隊を代表し、また、本校の卒業生として、本科学学生諸君に二点要望したいと思います。

まず、一点目は同期生同士で切磋琢磨し、将来、自衛隊を率いる幹部自衛官となるため、「資質と識能を身に付けてほしい」と、いうことです。

自衛隊は、昭和29年に発足し、今年で60有余年が過ぎました。この間、自衛隊は、我が国の領土、領空、領海を守り、我が国の平和と独立、国民の安心・安全を守るため、日夜、黙々と職務を遂行してまいりました。

その甲斐あって、現在自衛隊は、国の存立を全うし、国民を守る最後の砦として、国民から高い評価をいただいております。また、国際社会からもその実力、信頼性は広く認められております。これも、自衛隊を取り巻く環境が如何に厳しくとも、諸君の先輩が高い使命感と、強い責任感をもって、与えられた任務を完遂し、国民の負託に答えてきたからである。防衛大学校で身に付けた資質・識能がその根底にあったからであります。

諸君は、本日ここに、防衛大学校学生としての宣誓を行い、学生生活がスタートしました。

防衛大学校は、将来自衛隊の幹部自衛官として必要な識見および能力を与え、かつ、進展性のある資質を与える場です。この4年間の教育は、諸君の視野を広げ、科学的な思考力を養い、豊かな人間性を育ててくれることと確信をしております。

わが国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しいと言っても過言ではありません。その中で、自衛隊に対する期待度は更に高く、そして大きくなることであります。国民の負託に応えるため、どうか、國分学校長のご指導の下、防衛大学校学生たる名誉と責任を自覚し、常に徳操を養い、心身を鍛え、知識を涵養し、全力を尽くして学業に励み、将来、自衛隊を率いる幹部自衛官となるための資質と識能を身につけてもらいたいと思います。

第二点目については、将来の更なる統合運用のため、「同期の絆を育んでもらいたい」と、いうことであります。

平成18年度から防衛省・自衛隊は、陸・海・空自衛隊を一体的に運用する統合運用体制をとっております。

この瞬間においても、全国各地で、あらゆる危機に備えるため、陸・海・空自衛隊は即応態勢を維持するとともに、南西地域を始めとする我が国周辺海空域で、警戒監視及び対領空侵犯措置の任務に従事しております。

また、海外においても、陸・海・空自衛隊が協力して、アデン湾における海賊対処行動を始めとする任務を遂行しております。

今後、自衛隊のあらゆる任務に迅速に対応し、かつ完遂していくためには、統合運用体制を更に強化していくことが重要であると認識しております。

防衛大学校は、陸・海・空自衛隊の幹部自衛官となるべき者が一同に集っており、世界に誇る素晴らしい教育機関であります。

諸君は、これからの4年間で同期生とともに、ここ小原台において苦楽をともにし、切磋琢磨しあい、同期としての強い信頼の絆を築いていくことでしょう。

この同期の絆が、将来の統合運用を更に強化するために欠かせない基礎となるものであります。大いに、勉学の間や学生舎生活、さらには、校友会活動などを通じて、「同期の絆」を育んでもらいたいと思います。

留学生の諸君、諸君は、一人一人が貴国にとっての「宝」であり、日本にとっての「かけがえのない友人」であります。これからの4年間、日本の学生諸君とともに真の友情を築き、将来にわたり、祖国と日本との架け橋になられんことを期待しています。

次に、理工学及び総合安全保障研究科学生の諸君に申し上げます。

諸君がこれから学ぶ、科学技術及び安全保障に関する専門的知識・技能は、国の防衛を全うするために必要不可欠のものであります。科学技術は日々進化し、安全保障環境も一層厳しさを増しております。自衛隊はこの変化に遅れをとることは許されません。

諸君は、それぞれの専門分野において最先端の知識、動向を吸収し、現防衛計画の大綱で示された統合機動防衛力の具現のため、日々研鑽を積んでいただきたいと思います。

結びに、ご家族の皆様、本日、ご子息・ご息女が本日のよき日を迎えられたことに対しまして、重ねてお慶びを申し上げますとともに、防衛大学校の今後益々のご発展と、将来の国防を担う学生諸君が、今日の澁刺とした初心を忘れることなく、今後、大いに伸展されんことを心から御祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

平成30年4月5日  
統合幕僚副長 陸将 本松 敬史